

平成26年度 学校経営方針（抜粋）

学校長 若林 富男

1. 「教育理念・教育目標」「教育方針」「校訓」の実践

本校は私学であり、社会や保護者のニーズに応えるよう不断の努力をすることが、本校発展に不可欠であることを自覚すること。

創立の理念を踏まえ、本校の教育活動の根本をなす「教育理念・教育目標」「教育方針」「校訓」を最重視し、全教職員が十分理解会得し、日々のあらゆる教育活動を通じて、その精神ならびに経営方針の実践に向けて協力し、努力研鑽を重ねながら実現すること。

◇教育理念・教育目標

「心豊かなリーダーの育成」

将来の国際社会に貢献できる有為な人材の育成を教育目標とする。

◇教育方針

個性を尊重し、一人ひとりの可能性を伸ばすと共に、人間教育に重きを置き、他を思いやる豊かな心を育てる。小・中・高の12カ年一貫教育を通して、『規律ある進学校』として、「心力」「学力」「体力」のバランスのとれた三位一体の教育を行う。

◇校訓

「誠実」何事においても誠心誠意をもって取り組む心を大切にする。

「謙虚」素直な心で自分を見つめ、学びの姿勢を大切に自己の向上に努める。

「努力」学習にスポーツに人格形成に一生懸命に励み、切磋琢磨する。

2. めざす児童像

- 素直で明るく、元気よく挨拶ができる、礼儀正しい児童
- 夢を持ち勉強や運動・文化活動に意欲的に、粘り強く取り組むことができる児童
- 読書に励み思慮深く、思考力があり自分の考えをきちんと発言したり、他の意見にも謙虚に耳を傾けたりすることができる内面的な深みのある児童
- 自分を律し他者への思いやりがあり、コミュニケーション力や、問題解決能力に優れたリーダーシップの発揮できる児童
- 正義感が強く忍耐力や根気強さがあり、常に感謝の気持ちを忘れない児童

3. 平成26年度の学校目標

「平成26年4月開校、歴史の第一歩を踏み出す年」として位置づけ、『生徒の夢は学校の目標』を合言葉に、教育課程、学校行事、後援会活動などを計画に沿って、着実に進めていく。

本校独自のアフタースクール（講座と学童保育）を開設して、児童の可能性を引き出し、主体性を身に付けるよう活動の充実を図る。

- (1) 教育課程
学習指導要領に示されている教育課程を踏まえ、一部授業時数を増やし、学習内容の充実を図る。
- (2) 学校行事
児童の自立と協調、リーダーシップ力を養い、運営方法を工夫し、行事内容の充実を図る。
- (3) 後援会活動（保護者会）
学校の教育方針に基づき、児童、保護者、教員が協力して、教育活動の充実を図る。

4. 重点目標

- ① 「心」を育てる
 - ・自ら進んで元気よく挨拶する習慣の徹底
 - ・恵まれた教育環境の中での体験学習の充実
 - ・学級や学年内の活動、異学年や異学校との活動の展開
- ② 「知性」を育てる
 - ・子どもがわかる授業の重視
 - ・全教科と領域で基礎知識獲得100%の達成
 - ・生涯学び続ける「知的好奇心」の喚起
- ③ 「国際性」を育てる
 - ・ネイティブ教師と日本人教師による五感を活用した英語の授業
 - ・イマージョン授業（体育、音楽等）の基本方針の明確化
 - ・隣人から始まる人間関係の構築
- ④ 「からだ」を育てる
 - ・子どもの発達に合わせた基本的生活習慣の定着
 - ・日常の遊びや運動を通しての基礎体力の増進
 - ・給食を通しての望ましい食習慣の形成

◆全校朝会「校長先生の話」（4月14日）より

「校門一礼」

本校は「規律正しい進学校」です。礼儀正しい子どもを育てます。登下校の際には校門で一礼をします。スクールバスも自家用車も、校門のところで一時停止し、一礼をします。朝の「校門一礼」は、心を整え「学びの心」で今日の日に臨みますという一礼です。「きょうは算数がんばります」「江戸取りタイムのとき校庭を走ります」「給食を残さず食べます」のように、1日1つのことを心の中で唱えます。帰りの「校門一礼」は、朝のめあてを振り返りながら、今日の日に感謝し、明日の登校を願って一礼します。やらされる一礼ではなく、自らに語りかける一礼です。

「親しき仲にも礼儀あり」

朝起きたときの「おはようございます」玄関を出るときの「行ってきます」を、おうちの方に、元気な声ではっきりと言いましょう。（以下省略、返答をお願いいたします。）